



自立支援連絡協議会報告

< 平成30年度 定例会議 >

今年度も定例会議を開催しました。内容は例年通り、前年度の活動報告及び今年度の活動予定、南区の地域課題について情報共有などです。

その中でも南区の地域課題の一つである高齢化の問題や高齢化に伴う、「8050問題」について話題になりました。



また、地域生活支援拠点事業については、南区は面的整備で整えていく事を考えており、1事業所のみでの対応にならないよう、地域全体で支え、地域の社会資源を上手く活用していく事を考えていく予定です。

7月には研修会を予定し、名古屋市と意見交換も予定しています。南区の高齢化率は今年度も名古屋市1位で高齢者福祉との連携はどうしても必要な状況があります。

今回、港特別支援学校、南養護学校分校の先生も参加して頂き、特別支援教育の状況について報告があり、改めて教育との連携の大切さを実感しました、南区は療育センターや南養護学校分校など、子どもの支援に欠かせない社会資源もあり、より丁寧な連携ができるようにしていきたいと考えています。

さて、今年度も様々な研修会を予定しています、前年度は地域の皆様にも多数参加して頂き、とても充実したものになり、今年も多くの地域の皆様に参加して頂けるようにしたいと思います。

障害当事者や家族の皆様から多くの貴重なご意見を頂きました。頂いたご意見を真摯に受け止め、課題解決の為に努めたいと思います。改めて地域課題解決の為に地域の皆様と一緒に考えていきたいと思ひます。宜しくお願い申し上げます。



< 避難行動要支援者の防災を考える会 >

今年から名称を上記のように変更しました。今年も地域の皆様と一緒に南区の防災について考えていきたいと思ひます。今年度の予定としては、7月と11月末に研修会を予定しています。7月の内容は、BCP（事業継続計画）を予定し、11月は未定ですが、地域の方も一緒に考える事の出来る内容にしたいと考えています。

さて、最近また地震がふえています、基本的な災害対策はできているでしょうか？簡単に防災対策についてお知らせします。

① 土地の成り立ちを知り、災害リスクを把握する。② 地震発生時の具体的な行動をイメージする。③ 自宅で避難するための備えをしておく。④ 避難所・福祉避難所について知っておく。以上、ごく簡単ですが、地震対策の最低限の事です。①～④の詳細については、基幹相談支援センターに気軽に相談して頂ければ、資料を用意してあります。



最後に、皆様はお住まいの学区の防災訓練には、参加したことがあるでしょうか、避難所には福祉避難スペースが設置され、要支援者が過ごしてよい場所になっているので、事前に確認しておくことより安心ですよ。

< 相談支援連絡会 >

今年度も毎月1回（原則第2木曜日）、特定相談支援事業所と区役所福祉課、保健センターを交えて連絡会を行っていきます。

4月は、今年度の連絡会の方向性と年間計画の確認、また4月から変更のあった報酬改定の確認および運営について話し合いました。計画作成、モニタリングの基本報酬がおさえられ、各種加算が増設されていることから、各事業所も対応に追われている姿が浮き彫りになりました。

5月は、ケース検討会を行いました。名古屋市外の利用者様のケースで、市外のケースは南区とは福祉課や基幹相談支援センターの対応も異なり、ご苦労されていることがわかりました。あらゆる分野で「連携」の大切さが謳われていますが、その連携がいかに難しいか改めて考える機会となりました。

6月は、児童の生活を考える会との交流会を行いました。



< 相談支援連絡会・児童の生活を考える会交流会 >

協議会がはじまって初めての交流会を行いました。

はじめに、南部地域療育センターそよ風ケースワーカー山下氏より《療育の中で大切にしていること～子どもの育ち・家族の受けとめ》と題してお話をしていただき、その後グループワークを行いました。グループワークでは、山下氏のお話の感想、各自がどんなことを大切にしているか、などについて話し合いました。これからも、今後の支援に活かしていただけるような研修をおこなっていきたいと思います。



< 重度障害者入院時コミュニケーション支援 >

6月には、3月20日に名古屋市健康福祉局障害福祉部障害者支援課認定支払係 竹中詠子氏を迎えて行われた意見交換会の報告と、今までの取り組みの総括を行ないました。このワーキンググループの当初の目的である「制度の認知のための啓発活動をし、地域課題としていく」という取り組みについて一定の役割を果たしてきたと考え、今回を持ってこのワーキンググループを終了することになりました。重度訪問介護で、入院時の支援ができるようになったことで、ご本人様・ご家族様、事業所も利用できることを知り、今後もひとりでも多くの方が利用できることを願っております。

< 地域福祉力を伸ばそう >



今年は、9月28日（金）に行われる「第18回精神保健福祉ボランティア～全国のつどい in あいち Part II」へ参加します。当日は日本福祉大学の青木先生の基調講演の後、「地域の支援者を増やしていく活動」をテーマに、H15年から始まった「こころの健康講座」でのあゆみや、自立支援協議会にワーキンググループが発足後、合併してからの取り組みを分科会で発表します。

今年度も、地域に出向いての啓発活動に取り組んでいきます。

< 福祉関係事業所連絡会 >

5月16日（水）に、第1回福祉関係事業所連絡会を行いました。代表の今治氏より、平成30年4月の報酬改定について、きょうされんからの情勢報告の説明があり、各事業所の参加者は資料を見てメモを取りながら、真剣に聞いていました。



後半は、グループワーク。5～6人のグループに分かれて、報酬改定について情報交換や、日ごろの活動についての意見交換を行いました。少人数のため話しやすく、時間が来ても話題は尽きません。もっと時間がほしかった！という意見を多くいただきました。

グループの構成は多業種混合で行いましたので、初めてお顔を合わせる方も多く、お互いの事業所の情報交換など、この地域で利用者の方を支える仲間の横のつながりを作る機会になりました。

福祉関係事業所連絡会では、今年度も研修を中心に行っていきます。この地域の福祉を担っていただいている方々のお役に立てるような研修を開催したいと思いますので、ぜひご参加ください。



《今後の研修・イベント予定》

- 7月6日（金）18:00～ だいどうクリニック5階講堂
『地域医療連携のピットフォールとブラックホール』
- 7月10日（火）10:00～12:00 南区役所 講堂にて
『避難行動要支援者の防災に関する研修会
～福祉施設のBCP（事業継続計画）を学ぶ』
- 7月14日（土）13:30～16:00 名古屋市教育館2階講堂
『ひきこもり講演会～家族と本人がともに元気になるひきこもり支援』
- 7月17日（火）13:30～15:30 だいどうクリニック5階講堂
『地域生活支援拠点事業を考える』
- 7月19日（木）14:00～16:00 名古屋盲人情報文化センター・集会室
『視覚障害者用具・点字図書館サービス説明会』
- 7月21日（土）13:30～17:00 名古屋市立大学看護学部棟3階301教室
『発達障害のある子どもの家族への心理教育』
- 8月19日（日）13:30～16:15 なごや福祉用具プラザ 研修室
『円滑なコミュニケーションを学ぶ』



発行元

南区自立支援協議会事務局

南区障害者基幹相談支援センター

Tel 052-822-3001 / Fax 052-822-3035